

Title	懷徳堂記事
Author(s)	
Citation	懷徳. 1931, 9, p. 216-217
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/88853
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

雨に似てあまいだ。今日の拜觀にお盡力下さつた方々に感謝の忱を捧げ堂の恩頼の深甚なるに悦ぶ。

とつ宮の山より出づる谷水をかはきとごむと
幾掬ひしつ

おほけなく林泉の幽趣まなかひに仰ぎまつり
きとつ宮所

とつ宮の林の中のここかしこ身もたなしらに
玉砂利を踏む

湘園

懷德堂記事

△記念祭典 昭和五年十月五日記念祭恆典を執行し、終つて文學博士鈴木虎雄先生の「呂氏郷約の大要」と題する記念講演あり。

△勅語捧讀式 本年は教育勅語渙發四十周年に

相當するを以て十月三十日授業を休み午後七時より教育勅語捧讀式を行ひ、終つて財津教授小倉理事長の一場の講話あり。

△臨時講演 十一月二十二日文學博士野田義夫先生の「教育勅語と國民道德」と題する講演(本誌に收載す)昭和六年五月二十三日金澤の儒者黒本植先生の國體論及び思想問題に就ての講演あり。

△文科講義時間改正 從來同講義は午後六時より開講せしを昭和六年一月より同七時より九時迄に改む。

△定期講演改稱 毎週土曜日開講の定期講演は同年一月より「土曜講演」と改稱す。

△北宋五子哲學刊行 四月二十五日故本堂教授文學博士松山直藏先生著はす所の「北宋五子哲

學」を刊行す。

△田中 文部大臣視察 五月一日 文部大臣は赤間
専門學務局長、猪股秘書を隨へ來堂堂内を視察
の後、大講堂に於て聽講生のために一場の訓話
あり。

△第三期の講義講演 昭和六年第三期(九月)よ
り新たに開講するもの左の如し

定日講義 木曜 榮華物語 林 講師
文科講義 金曜 陸游詩 鈴木博士
土曜講演 日本國民經濟論

京大教授經濟學博士 作田莊一先生

通俗講演 毎月第三火曜

第一講 膠質の世界

第二講 表面の化學及物理

第三講 接觸觸媒の作用

第四講 膠質化學の工業上の應用

京大教授理學博士 堀場信吉先生

堂友會記事

昭和五年十月五日 恒祭 會誌刊行

午後二時より記念祭典、午後三時より記念講

演あり、會員一同參列、會員中川幸三君は十

ケ年間聽講繼續の故を以て表彰せらる目出たし

會誌第八號を刊行頒布する。

十一月十六日 探勝會

奈良の石佛、三月堂、戒壇院、頭塔山方面に

探勝會を催す。佐々木恒清先生が親しく御案

内賜はりしを感謝する。

十一月三十日 桂、修學院兩離宮拜觀

理事長小倉先生のお骨折で桂、修學院兩離宮